



opinion

創造性と技能を備えた次世代の後継者育成を目指して

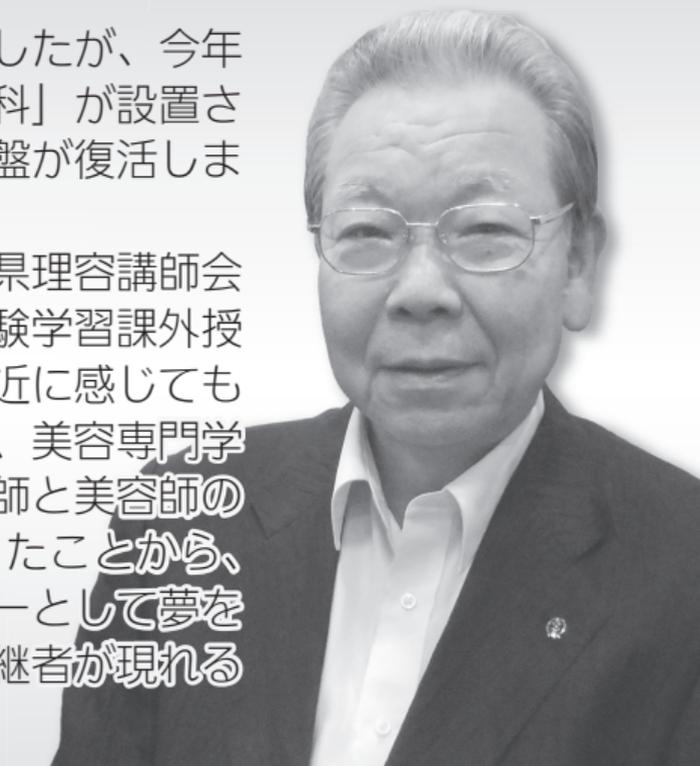
当組合は昭和33年に設立され、組合員の技術向上のための理容競技大会や技術講習会、衛生消毒講習会などを積極的に行い、業界全体の技術向上と活性化に取り組んできました。

理容業界は時代とともに大きく変化し、理容師の高齢化による店舗の減少、顧客の少子高齢化や来店サイクルの長期化、大型低料金店の台頭などで、大変厳しい状況にあります。組合では、大型低料金店との差別化のためプロのシェービング技術のPR活動の他、夏の暑さを頭からクールダウンするクールビズヘアの提案や冷たいトニックシャンプーを使う「冷やしシャンプー」など、お客様への新しい技術を提供するためにメニューの多様化に取り組んでいます。また、平成28年の理容師法の一部改正により理容師が女性客にパーマメントを行えるようになったことから、全理連が考案し、女性客向けのニューヘアをPRするなど女性客の新規獲得に向けた取り組みをしています。

現在、理容業界でも後継者不足が大きな課題となっています。平成19年に山梨県理容専門学校が閉校となり理容免許の取得には県外の

学校へ進学しなければなりませんでした。今年度から山梨県美容専門学校に「理容科」が設置され、次世代の理容師後継者育成の地盤が復活しました。

組合として後継者育成のために、県理容講師会を中心に、中・高生を対象に理容体験学習課外授業など実施し理容業をより理解し身近に感じてもらえるように努めていきます。また、美容専門学校への理容科設置により県内で理容師と美容師のダブルライセンス取得が可能になったことから、創造性と技能を備えた業界のリーダーとして夢を持てる業界にしてくれる次世代の後継者が現れることを期待しています。



山梨県理容生活衛生同業組合

理事長

齊藤 信善 氏